

(別紙4(2))

事業所名 御殿場十字の園 グループホーム笑みの里

作成日: 令和4年 8月 27日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	19	コロナ以前に比べ、ご家族との関わりの場が少なくなっていることもあり、ご家族に対しご利用者様に関する情報提供が不十分になってしまっている。	今まで以上にご家族と連携を密にとり、必要な情報を共有するとともに、可能な限りご家族の協力を得ながらご利用者様が安心して生活を送ることができるように務める。	季節行事等の報告はもちろんのこと、日々のご利用者のご様子を定期的にお伝えするとともに、必要に応じて、オンライン面会や病院受診への付き添いの依頼を行っていく。	12ヶ月
2	38	日々の業務に追われ、いつの間にか職員が主体となって物事をおこなってしまっている時がある。	いかなる場面においてもご利用者が主体となり、ご利用者ひとりひとりのペースに寄り添った支援ができるよう務める。	グループホーム本来の意義を職員が再認識するとともに、ご利用者ひとりひとりの生活歴などの人となりをしっかり理解したうえで、ご利用者ひとりひとりの生活のペースを意識し支援を行っていく。	12ヶ月
3	25	目の前の業務に気を取られ、ご利用者の些細な状態の変化やサインを見逃してしまっていることがある。	1つの物事だけに意識を集中するのではなく、つねに周囲にアンテナを張り巡らせ、視界を広く持って物事に取り組むことで、日々変わりゆくご利用者の変化を敏感に感じ取ることができる。	常に広い視野を持って物事を行うことを意識するとともに、些細な状態の変化に対しても職員間で情報共有を行い、適切な支援をおこなっていく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。